

警察署協議会議事概要

協議会名	神奈川県秦野警察署協議会
日 時	令和4年4月28日（木）午後3時から午後4時40分までの間
場 所	神奈川県秦野警察署
出席者	<p>1 警察署協議会側 会長 柳川豊 副会長 栗原和子、 委員 飯田久雄、大澤玲子、鈴木雅人、高橋克実、和田利一 計7人</p> <p>2 警察署側 署長 岩淵浩二、副署長 濱野修次、調査官 唐澤毅、会計課長 加藤紀子 生活安全課長 千葉康弘 地域課長 阪口聡啓、刑事課長 程塚洋一 交通課長 和田正紀、警備課長 石川春樹 計9人</p>
議事要旨	<p>警察署協議会からの答申等に対する措置結果の説明</p> <p>1 諮問 昨年10月開催の警察署協議会の諮問「高齢者事故防止対策の強化について」への答申に対する措置結果は、本年1月にコロナ禍で開催を中止とした際、各委員に文書回答している。 内容は以下のとおり。 答申 <ul style="list-style-type: none"> ・ 企業に対する交通安全教室の実施 ・ タウンニュースを活用する。 ・ 回覧板を活用してはどうか。 ・ チラシへの記載内容を具体的にしてはどうか。 ・ 運転者に高齢運転者の特性を理解させる等の意識改革を図る。 ・ 青パトを使った広報の実施 ・ 運転免許証の自主返納を更に推奨してはどうか。 措置結果 <ul style="list-style-type: none"> ・ 市内の企業に交通安全教室を実施し、高齢者の特性（身体機能の低下、判断能力の低下等）に対する理解を促す説明を行った。 ・ 12月3日付けタウンニュースに秦野警察署特別企画による「事故や詐欺に遭わないために」を掲載し、取組施策を紹介した。 ・ 渋沢相互住宅自治会に交通事故防止用パンフレットを配布を行った。 ・ 秦野警察署Twitterを活用したタイムリーな広報活動及び警察署ロビーに交通事故の現場写真を掲示し、来庁者へ事故の実態を訴え事故防止を啓発した。 ・ 交通安全協会の協力を得て、毎月1日と15日の交通安全日に元タカラジェンヌによる広報アナウンス等を実施するとともに、小学校の下校時に見守り活動を実施した。 ・ サポート事業一覧を自主返納者に配布し、安全教室、安全講話等様々な機会を通じてサポート事業一覧を活用した自主返納への取組を推進した。 <p>諮問 交番の統合による地域警察力の確保方策～南矢名交番と東海大学駅前交番の統合活動</p> <p>答申 ◎ アクティブ交番の運用について</p> </p>

- ・ 日常的な看板等の設置
- ・ 自治会の回覧で回す
- ・ イベントがあれば、そこにアクティブ交番を配置して周知させる
- ・ アクティブ交番の車の名称を変えた方が良い
- ・ 周知するには、日程固定の方が良い
- ・ ホームページ・SNSでの周知よりは看板等を設置した方がいい
- ・ 警察官が車の中にいると分かりづらい
- ・ 南矢名エリアのアクティブ交番の来訪者の人数

業務報告

前四半期（令和4年1月から3月）の業務推進結果及び今四半期（令和4年4月から6月）の業務推進計画について、署長から説明がなされた。